

フォトジャーナリストが見つめた、インドネシア アチェの人びと。



© 豊田直巳

2004年12月、インド洋に面した国々で約23万人の方が犠牲となったスマトラ沖地震から5年。震源にもっとも近いインドネシア・アチェでは、地震と津波による死者・行方不明者約17万人という被害をもたらしました。

この写真展では、アチェにおける津波被害から「復興」、そして親を失った子どもたちの現在までを見つめたフォトジャーナリスト(報道写真家)の写真約90点を紹介します。

アチェでは独立を求めるGAM(自由アチェ運動)とインドネシア政府による紛争が30年以上続いていましたが、この災害がきっかけとなり和平が実現したという背景があります。

災害と紛争という二重の苦難を乗り越えた子どもたちの姿や、アチェという地域を通して、人間の強さや平和な暮らしとは何かを考えるきっかけになることを願い、この写真展を開催します。

豊田直巳(とよだ なおみ) 写真集に『大津波アチェの子供たち』『イラク戦争下の子供たち』(第三書館)
『子どもたちが生きる世界はいま』(七つ森書館)など多数



【関連イベント1】

「豊田直巳氏によるスライド・トークなど」

を予定しています。日時については学習サービス課までお問い合わせください。

* 会場で豊田氏取材のビデオ作品の上映も行います。

【関連イベント2】地球市民ひろば・セミナー

「演劇を通した子どもたちの心のサポートと平和構築 ～アチェと国内の活動より～」

日時：2009年11月3日(火・祝)

14:00-16:30 (13:30 受付)

講師：花崎攝(はなさき せつ)さん
(演劇ワークショップファシリテーター)

場所：あーすぷらざ1階ワークショップルーム

定員：30名(要事前申し込み)

申込先：財団法人かながわ国際交流財団

学習サービス課

Tel：045-896-2899 (祝日除く月曜休み)

Fax：045-896-2299

*写真展のタイトルを「TSUNAMIをこえて」より変更しました。